

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第19号 R5.3.24 (金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「卒業おめでとう」3月14日(火)

今年度は各団体のご代表の来賓の方々や、保護者の皆さんにも参列いただき、卒業式を迎えることができました。お天気にも恵まれ、43期生215名が巣立っていきました。卒業生の歌は RADWIMPS の「正解」。最後に素敵なお年賀を聴かされました。何が正解か分からない混沌とした今を生きる生徒達、それを支える私たち大人にもしみる曲でした。

この学年は様々なコロナ禍の困難を乗り越え、しなやかに逞しく成長してくれたと感じます。できる行事は全力で取り組み、修学旅行や体育大会で見せたエネルギーは本当に素晴らしいものでした。教員との距離も近く、温もりのある学年集団でした。クラスの枠を超えてみんな仲が良く、毎日給食が終わると一番にボールを借りに来て、サッカーに興じるメンバーはどんどん増え、最後は20人近くいたでしょうか。そんな風景も世代交代になります。卒業式が終わって急に2年生や1年生が成長したように見えるのは気のせいではないと思います。あとは在校生がしっかりバトンを引き継ぎます。

「準備なくして成功は無し

粘りなくして成功は無し」

自分の進路に真剣に向き合い、迷い、悩み、選び、決めた卒業生の皆さんを我々はずっと応援しています。

「心震える」

皆さんは大人になってから「心が震え、涙があふれるような体験」をしたことがありますか。卒業式、体育大会、合唱、ダンス大会など、生徒達が力を合わせ、一生懸命に努力する姿は、周りにこの上ない感動を与えるのです。我々はこれらを共有できることに毎日感謝しています。

「集団の集大成 歌声編」

楽しみにしていた合唱です。多くの教員が各学年の合唱コンクールに招待され、審査員を務めました。

1年生の合唱では準備の段階では「私たち4年生から歌ってないんです」という言葉に不安がよぎっていたのですが、課題曲「大切なもの」を全クラスが歌いました。どのクラスも本当に素晴らしいハーモニーでした。最後に予定されていなかった学年合唱にも挑戦し、学校中に響き渡る素晴らしい歌声でした。

2年生はクラスごとに課題曲である校歌と自由曲に取り組みました。そういえば校歌を熱唱することは入学してから一度もなかったと思います。入学当時から感染防止で歌えなかったこともあり、ようやく歌えるようになったら今度は声が出ないという課題を抱えていました。ところが、この合唱コンクールでは本当によく声が出て、感激しました。来年の卒業式の歌が楽しみです。

「集団の集大成 ダンス編」

教員から「1年生も2年生もダンスの発表をするんです。」と聞いて、思春期だし、恥ずかしがって踊らないのではないかと懸念したのは私だけでした。練習を見ていると、教えあったり、合わせたり、徐々に形になってきて、最後には創意工夫でアレンジまでして作品に仕上げました。今更ですが、ダンスの素晴らしさが分かったような気がします。1年生も2年生も、そして教員チームもみんなが楽しんで、大胆に踊っている姿が本当にかっこいいのです。それぞれ凝った演出も見事でした。どのチームも甲乙つけがたく、みんなに賞をあげたいと思いました。

合唱とはまた違うリーダーの活躍が見られて、集団のエネルギーの表現方法って多様だなと感じました。次はどんな企画が生まれるでしょうか。期待しています。

「お礼」

令和4年度が幕を閉じます。次年度も教職員一丸となり、三中生の成長を支えていきたいと思っています。一年間本校教育活動にご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。